



2019年4月26日

報道関係者各位

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
 一般社団法人慶應ラグビー倶楽部
 慶應義塾体育会蹴球部

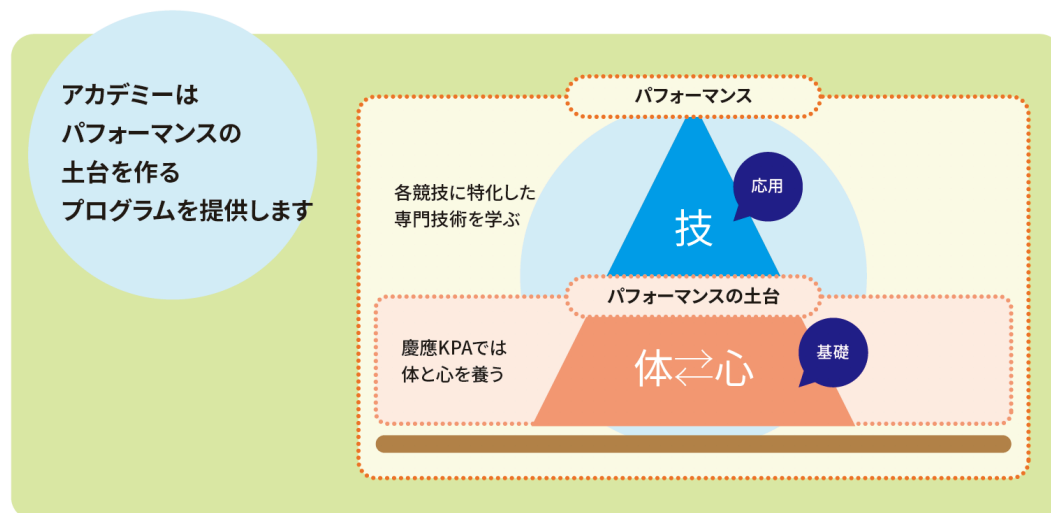
多様な運動で子どもの「体」と「心」の成長をサポートする 教育研究事業「慶應キッズパフォーマンスアカデミー」を開校

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下、慶應SDM）と一般社団法人慶應ラグビー倶楽部（以下、KRC）は、慶應義塾体育会蹴球部（以下、ラグビー部）と連携し、小学生を対象とした「体」と「心」の成長をサポートする教育研究事業「慶應キッズパフォーマンスアカデミー（以下、本アカデミー）」を開校します。本アカデミーは、あらゆる対象をシステムとして捉え、俯瞰的かつ緻密な視点でその実現を成功に導く考え方や方法論を教育研究する慶應SDMがプログラムの設計と検証を担当し、日本最古のラグビーチームである蹴球部OB/OGが中心となって設立したKRCがアカデミーの運営を担当します。

本アカデミーの特徴は、参加する子供（以下、アカデミー生）が自分の「体」と「心」に興味を持ち、その能力の向上を実感することのできるプログラムを提供することです。具体的には、走る、跳ぶ、投げるなどの運動能力と、考える、話す、挑戦するなどの思考・行動能力に着目し、その能力への興味喚起と向上を目的としたプログラムを設計し、そのプログラムをラグビーや陸上、体操の分野で日本代表やトップアスリート、慶應義塾体育会各部学生の育成に携わるプロコーチ陣を中心とする指導陣によって運営します。元ラグビー日本代表主将の廣瀬俊朗氏もコーチを務め、リーダーシップなどの指導に加わります。

アカデミー生の成長やプログラムの成果を目的としてGPS受信機やドローン、高速カメラといったテクノロジーやデータを有効に活用します。また、そのデータによってアカデミー生が自分自身の成長や他者への理解を深め、運動能力や思考・行動能力向上につなげる行動変容を促す仕組みやプロセスを提供して検証するスポーツデータ利活用に関する研究も推進します。「社会貢献」「先端研究」「チーム強化」に繋げる大学スポーツの新たな試みでもあります。

アカデミーは、毎週月曜日と土曜日の夕方に下田ラグビーグラウンドにて実施する会員制のプログラムです。各クラスの会員を募集しており、5月11日（土）に開校式と初回のレッスンを実施しますので、是非ご取材のほど、よろしくお願いいたします。



本アカデミーが対象とする子供の能力の対象（「体」と「心」）のイメージ



「心」と「体」の成長をサポートするための本アカデミーの成長サイクル

本アカデミーの詳細は、Web サイトをご覧ください。

公式 Web サイト : <http://www.kpa.sdm.keio.ac.jp>

1. 実施スケジュール

月曜と土曜それぞれにジュニアクラスとシニアクラスを実施致します。

※定員 : 40 名 (各曜日/各クラスごとに)

- ・ジュニアクラス (小学 1~3 年生) : 16:15 レッスン開始 17:30 終了
- ・シニアクラス (小学 4~6 年生) : 17:45 レッスン開始 19:00 終了

2. 実施場所 :

慶應義塾大学下田ラグビーグラウンド (横浜市港北区)

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 他

3. 入会金/月会費

入会金/更新費 : 8,000 円 (税込) / 4,000 円 (税込)

月会費 : 8,000 円 (税込) (ジュニアクラス/シニアクラス共に)

4. 開校式と初回レッスン

本アカデミー開校にあたり、下田ラグビーグラウンドにて開校式と初回レッスンを公開致します。

お越し頂ける場合には事務局 (kpa@sdm.keio.ac.jp) に氏名・所属・連絡先をご連絡下さい。

日程 : 2019 年 5 月 11 日 (土)

時間 : ジュニアクラス : 16:15 開校式 16:30 レッスン開始 17:30 終了

シニアクラス : 17:45 開校式 18:00 レッスン開始 19:00 終了

当日スケジュール（ジュニアクラス・シニアクラス共通 / 当日変更される可能性があります）

1.開校式

2.ウォーミングアップと運動

スピード： 早く走るためのコツ「軸作り」を学ぶ。GPS で自分の最高速度を知る。

体操： 柔軟と回転運動の基礎を学ぶ。映像撮影と分析（分析結果は次回にレポート）を知る。

ボール運動： 様々なルールの中で、ボールを捕る・投げる・蹴る。的当てにも挑戦する。

3.ゲームタイム

コーチ陣とスポーツ鬼ごっこ対決。遊びを通して考える力を養う。

4.終了挨拶

5.全体写真撮影

【参考】

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

複雑に絡み合った大規模・複雑な諸問題を全体統合的な視点から解決するために慶應義塾創立150年にあたる2008年に開設された大学院。システムズエンジニアリングやシステム×デザイン思考を基盤とした教育研究を推進しており、スポーツを対象としたスポーツシステムデザイン・マネジメントラボでは、トップチームから地域スポーツクラブまでを対象にしたスポーツへの貢献、価値向上を目的とした教育研究を推進しています。

<http://www.sdm.keio.ac.jp>

一般社団法人慶應ラグビー倶楽部

日本最古のラグビーチーム「慶應義塾体育会蹴球部」のOB/OGが中心となり、「慶應ラグビーの強化」「日本ラグビー界発展の寄与」「社会貢献」を目的として設立した一般社団法人。慶應ラグビーの発展を支え、学生を教育・指導し、社会で活躍する卒業生を輩出してきたノウハウと組織力を生かして本アカデミーの運営をすると共に、プログラムの監修や優秀な指導者の確保などをサポートします。

<https://krc.keiorugby.com>

*本資料は文部科学記者会、科学記者会、各社社会部、運動部、横浜支局等に送信しています。

*ご取材に際しては、事前に下記まで（※）ご一報下さいますようお願い申し上げます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應キッズパフォーマンスアカデミーの全体・設計・検証について：

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

教授 神武直彦

TEL 045-564-2580 Email kohtakesec@sdm.keio.ac.jp

慶應キッズパフォーマンスアカデミーの運営・慶應義塾体育会蹴球部について：

一般社団法人 慶應ラグビー倶楽部 慶應キッズパフォーマンスアカデミー事務局（※）

TEL 03-3473-3525 Email kpa@sdm.keio.ac.jp

【本発表資料の配信元】

慶應義塾広報室 並木

TEL 03-5427-1541 FAX 03-5441-7640

Email m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>